



水産

所属 農林水産部水産局水産課企画指導室

入庁年 2018年

異動歴 2018年
水産総合研究センター
2023年
農林水産部水産局水産課企画指導室

1 仕事の内容は？

私が配属されている「水産課」では、水産業の振興、漁業に関する許認可や取締り、水産物の販売促進などの業務に取り組んでいます。私自身は、主に漁業就業者の確保・育成対策に関することを担当しています。例えば、「就業相談会」での説明や「漁業体験」の実施、新しく人を雇いたい漁業者とのマッチングなど、相談から就業、定着まで就業希望者の支援を行っています。

2 志望理由は？

私が千葉県職員を志望した理由は、水産系の大学で学んだ知識を生かし、漁業現場で漁業者に貢献できると考えたからです。千葉県は三方を海に囲まれ、銚子漁港などで多くの水産物が水揚げされる点も魅力です。

3 仕事のやりがいは？

どの業務も漁業者や加工業者の生産に密接に関わっています。その分、大きな責任もありますが、成果を出した時には、漁業者や加工業者に直接感謝されることも多く、自分の仕事が漁業現場に貢献できたという実感を得られます。

4 印象に残った仕事は？

就業相談から漁業体験、その後の漁業就業まで支援を行った就業希望者の方が漁業者として地域に定着し、本人や雇用者から感謝されたことです。相手の気持ちや状況に寄り添って、支援に取り組んだ成果が出ました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

千葉県内の様々な漁港・漁村を訪れることで、各地域の水産物の魅力に改めて気づかされました。特に銚子漁港を訪れた際、地元で購入したマイワシがとてもおいしく、多くの方にこのおいしさを知ってほしいと思いました。また、九十九里町の直売所では、地元の方が郷土料理の「イワシのごま漬け」を作るため、水揚げされたばかりのカタクチイワシを並んで買っている姿をみて、漁業とつながりのある地域文化も千葉県の魅力だと感じました。

6 職場の雰囲気は？

水産職は水産系の大学出身で水産物を食べることや釣りが好きな人が多く、仕事以外のことでも先輩方と話しやすい雰囲気だと感じます。現在所属している水産課の職員数は、約30人ですが、同じく水産職が配属される漁業資源課も隣にあり、同期や同年代の水産職との関わりも多い職場だと思います。また、業務を進めるうえでは、観光や土木に携わる職員との関わりも多く、様々な視点を持ち視野を広げることができる職場だと思います。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、東京湾や外房地域で釣りをすることが多いです。水産職は、釣り好きの人が多く、同僚と一緒にいくこともよくあります。また、退庁後は同僚と食事に行ったり、地域の入浴施設でリラックスしたりしています。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メール確認やスケジュール調整
- 9:00 ● 漁業就業者の確保・育成対策に関する資料の作成
- 11:30 ● 作成資料を上司に説明
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 上司の指示による資料修正
- 14:00 ● 関係機関への資料の送付及び説明
- 16:30 ● デスクワーク、本日の業務内容の確認と翌日の準備
- 17:15 ● 退庁

